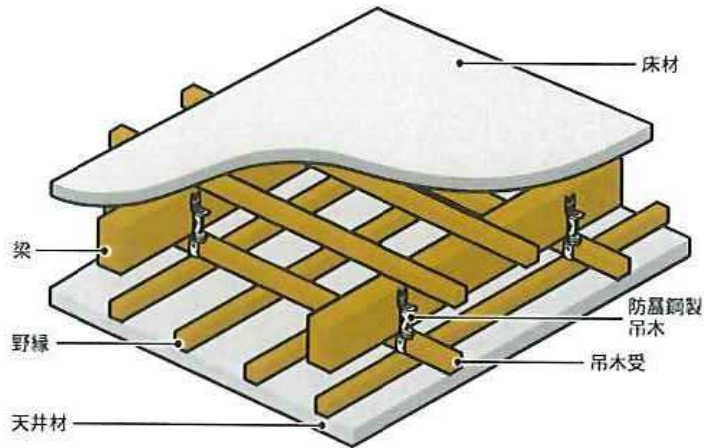


防震鋼製吊木

生活の中で気になる“音”。

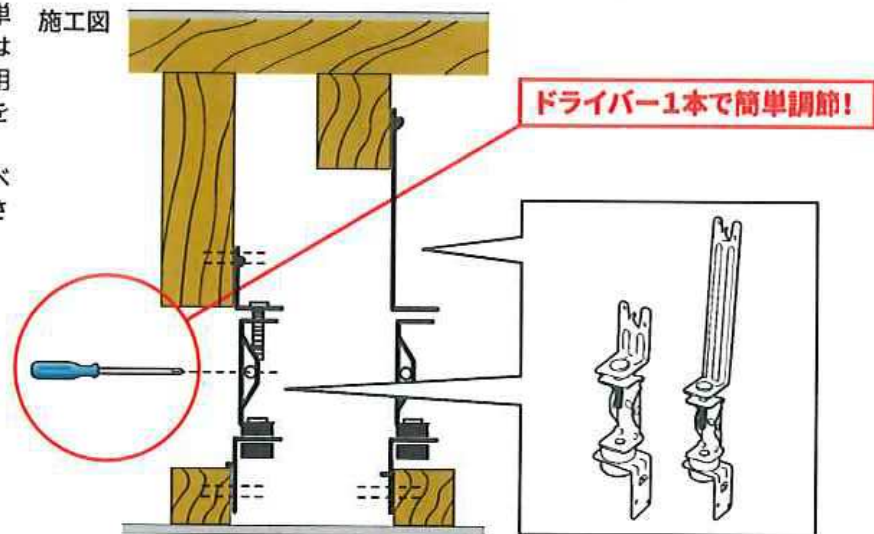
上階の足音などの様々な生活音が快適な暮らしを妨げます。下階の天井と上階の床材の間に、防震鋼製吊木を施工することにより音を気にすることのない暮らしへ早変わりします。



1 施工時間の大幅短縮！

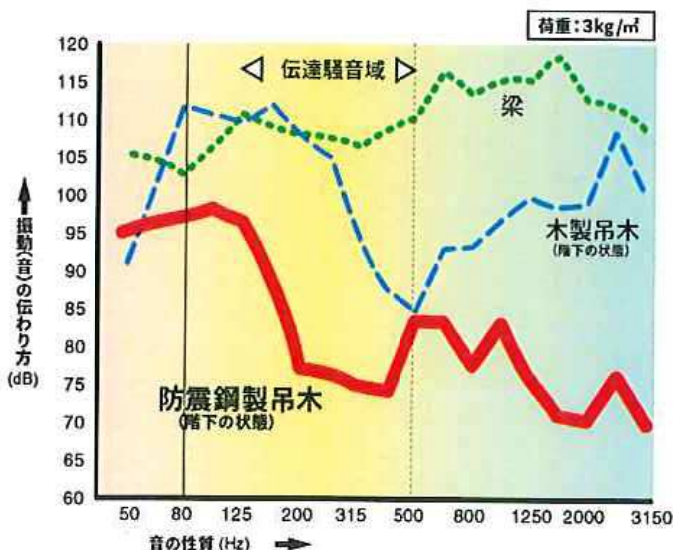
施工は従来の工法と比較して極めて簡単です。釘またはビスで梁や吊木受または野縁に固定し、ターン部のドライバー用穴にドライバー等を差込み、ターン部を回転させて長さを調節して下さい。また、従来の工法では困難な天井のレベル調節ですが、防震鋼製吊木なら、高さ調節も容易に行うことが可能です。

施工図



2 振動をシャットアウト！

ゴム製の防震材が梁からの振動を吸収するので、上階の振動を軽減できます。



このグラフは、①梁のみ、②木製吊木、③弊社の防震鋼製吊木の音の伝わり方を実験データをグラフ化したものです。話し声や足音は約300～500Hz。防震鋼製吊木なら圧倒的な消音効果を発揮することができます。

更に、溶融亜鉛メッキ仕上げの鋼製吊木なので、木材やプラスチック製吊木より遥かに優れた耐久性を誇ります。

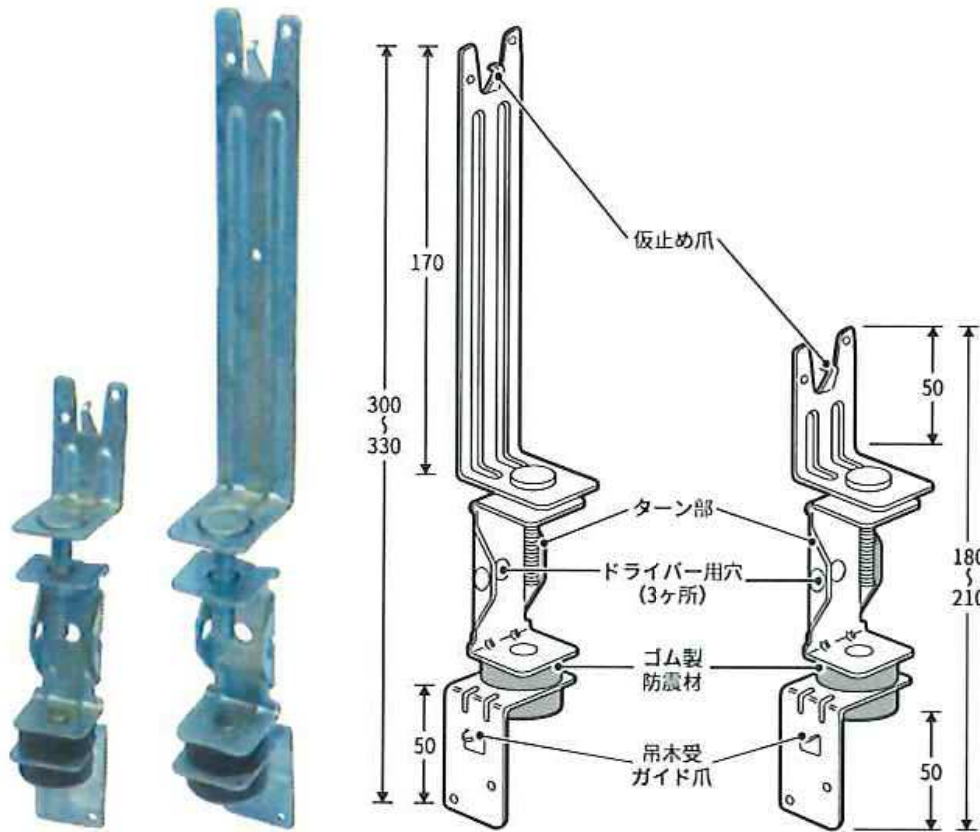
特徴

①溶融亜鉛メッキ

空気や水を通しにくい亜鉛の酸化皮膜を形成し、さびを生じにくくする保護皮膜作用に加え、亜鉛メッキに何らかのキズが発生し、素地鉄が露出しても、キズ周囲の亜鉛が鉄より先に溶け出し、鉄を腐食させない犠牲防食作用があります。

②ブチルゴム採用

衝撃エネルギー吸収性、耐候性、耐熱性、電気絶縁性に優れ、ボールやタイヤのインナーライナーにも使用されています。

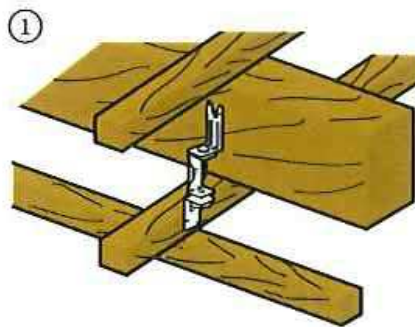
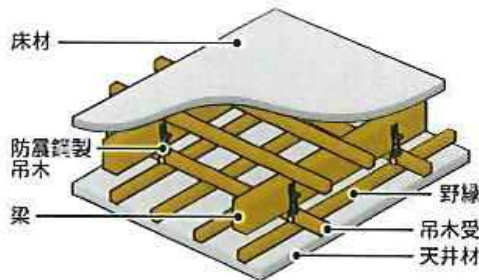


コードNo.	品番	サイズ (mm)	材質	表面処理	入数
AZA0049	TS-180	180~210	SPHC+ブチルゴム	溶融亜鉛メッキ	50
AZA0050	TS-300	300~330	SPHC+ブチルゴム	溶融亜鉛メッキ	50

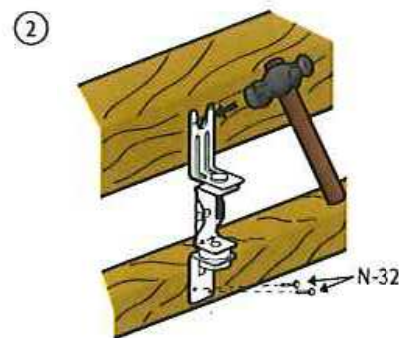
防震鋼製吊木施工説明書

防震鋼製吊木は、梁が受ける振動を効果的に防震材が吸収し、上階の振動を伝えない構造で、ターン部を回転させるだけで容易にレベル調整が可能です。

施工手順



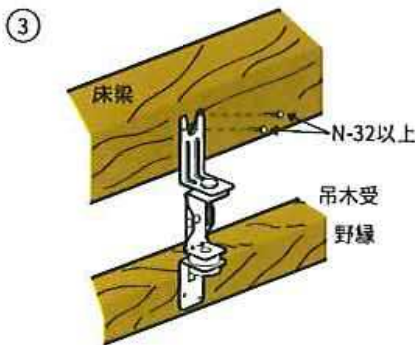
防震鋼製吊木は、室の中心部から取付けて下さい。
この取付から天井野縁レベルの調整を行って下さい。



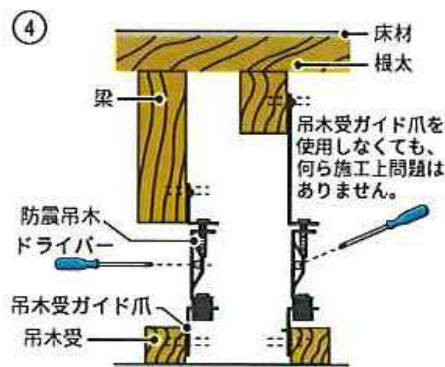
吊木受 (野縁) に、防震鋼製吊木受具にあるガイド爪をあわせながら、吊具仮止め爪を床梁に仮止めし、吊木受 (野縁) に受具と N-32 (釘 2 本) にて垂直に取付けて下さい。

使用上のご注意

- ◎製品図を参考に、吊具を上を受具を下にして、上下を確認して使用して下さい。
- ◎防震鋼製吊木を取付ける際、使用釘は吊具には N-32 以上、受具には N-32 をご使用下さい。
- ◎防震鋼製吊木は、垂直に取付けて下さい。
- ◎2 階根太には取付けしないで下さい。
- ◎住器 (エアコン) 等の天井吊具として使用する場合は、受具の取付けには別途木部材の介助を行って下さい。
- ◎取付ピッチは 910mm 以下にてお願いします。



床梁へ仮止めしている吊具と、N-32 以上 (釘 2 本) にて固定して下さい。



レベル調整は、ターン部にドライバー (ボールペン) 等を回転させる穴に入れ、任意に回転させることによりレベル調整が出来ます。